

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 20 年 8 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2）

26 日から 27 日にかけて実施した現地調査では、山頂部北側の地表面温度分布に高温を示す領域は認められませんでした。

新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは、山頂部東側斜面の弱い噴気が時々確認される程度で、噴気の状態に特段の変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3）

新潟焼山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



図 1 新潟焼山 北側から見た山頂部の状況（31 日、焼山温泉監視カメラによる）
白円内は従来から見られている弱い噴気です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 9 月分）は平成 20 年 10 月 7 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、新潟県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

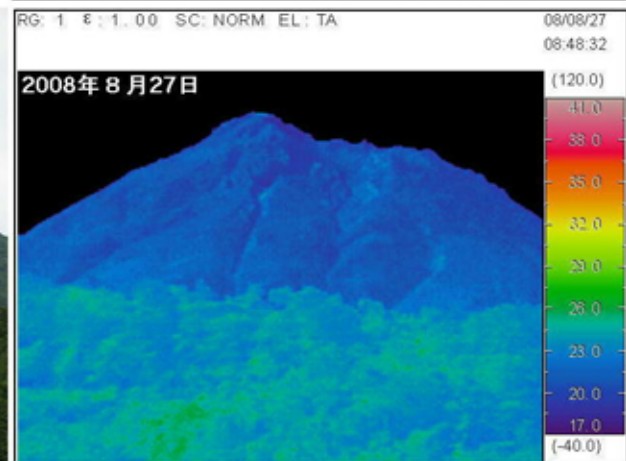
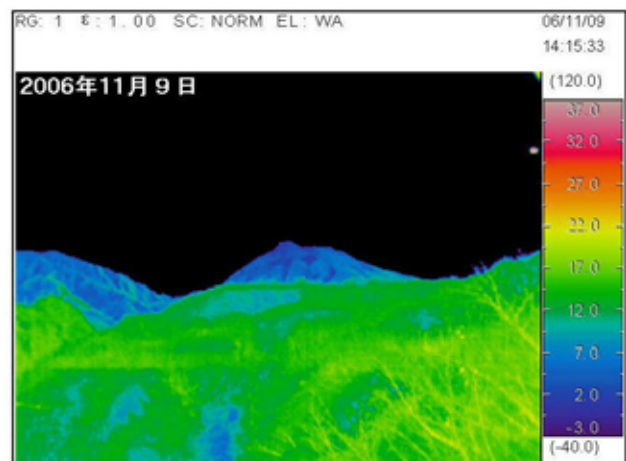
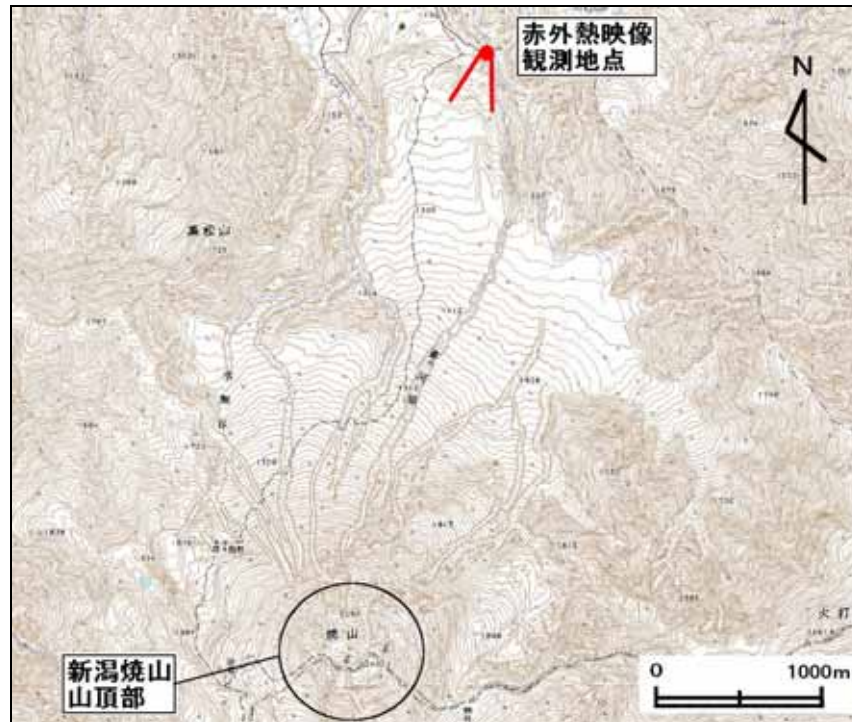


図2 新潟焼山 山頂部の表面温度分布(北側山麓カラサワから観測)

右上: 2006年11月 広角レンズ使用 右下: 2008年8月 2倍望遠レンズ使用

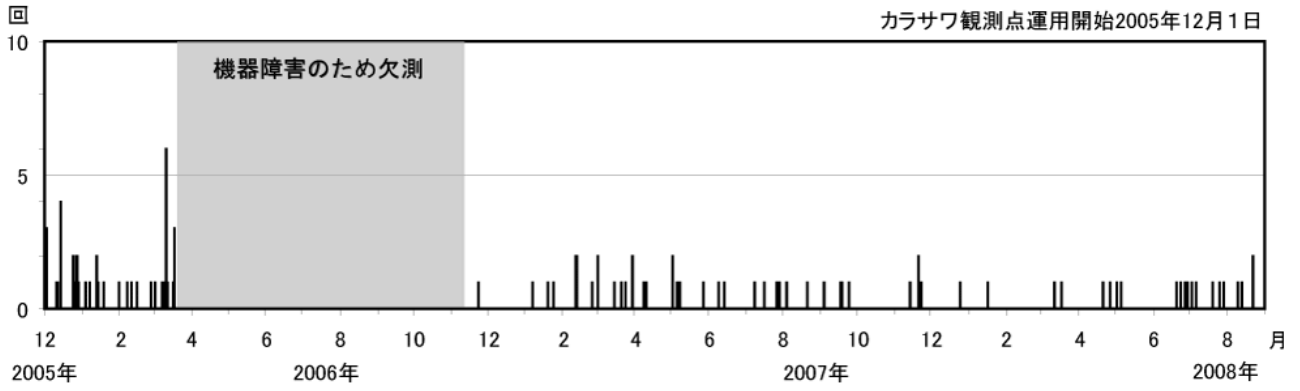


図3 新潟焼山 日別地震回数（2005年12月1日～2008年8月31日）

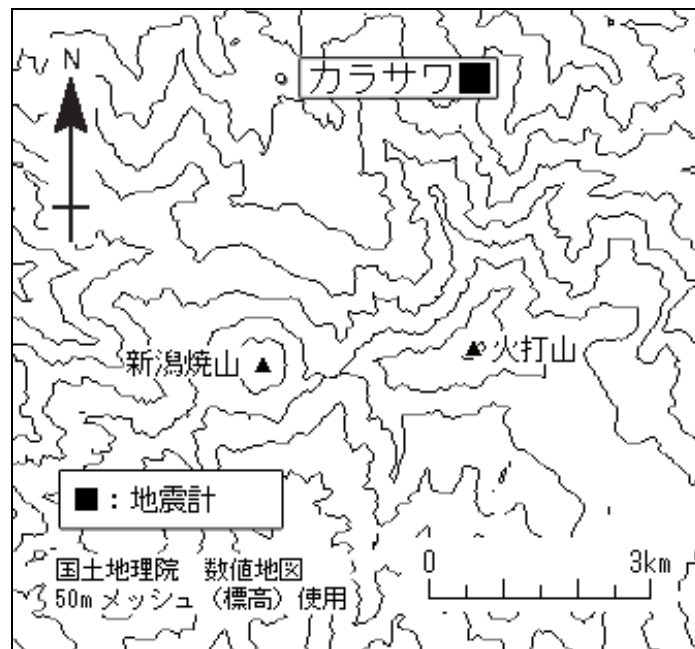


図4 新潟焼山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）